

Orchestre National

ONLY LYON 

フランス国立リヨン管弦楽団



©David Duchon

DE



指揮：
レナード・スラットキン
LEONARD SLATKIN
Music Director

©Niko Rodamel

2016年
6/30 (木) 19:00 (18:30開場)
サントリーホール
Thursday, June 30, 2016 at 7 p.m. Suntory Hall

ブラームス：
悲劇的序曲 op. 81
Brahms: Tragic Overture op. 81

ブルッフ：
ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 op. 26
Bruch: Violin Concerto No. 1 in G minor op. 26
(ヴァイオリン：ルノー・カプソン)

ムソルグスキー(ラヴェル編)：
組曲「展覧会の絵」
Mussorgsky(arr. Ravel): "Pictures at an Exhibition" Suite



ヴァイオリン：
ルノー・カプソン
RENAUD CAPUÇON
Violin

©darmigny

S¥18,000 A¥15,000 B¥12,000
C¥10,000 D¥8,000 プラチナ券¥22,000

Hibiki to the World



SUNTORY HALL



主催：KAJIMOTO

後援：



在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本/



France.fr フランス観光開発機構

協力：株式会社ワーナーミュージック・ジャパン



Auvergne - Rhône-Alpes

リヨン管、スラットキン、カプソン—— 本物の音楽家たちの対話

粋なタクトでアンサンブルを高みに導く名匠がいる。熟達のキャリア。この人は、劇的な調べに寄り添ったとしても、オーケストラを決して煽らない。喝采を博しやすい演出も施さない。フレーズの「句読点」をさりげなく浮き彫りにしながら、サウンドを嫌みなく引き締めてゆく。世代を超えた管楽器の達人たちも、自慢の技や音色をいつも以上に聴き合っているよう。

2014年夏、日本でこのコンビは魅せた。ここぞという場面では華やかな音楽を奏でつつ、響きは精妙だった。新しい地平を拓いたといっても過言ではない。オーケストラ・ビルダーとしてもマエストロとしても愛されているレナード・スラットキンに導かれ、フランス国立リヨン管弦楽団は、響きの質感を、その変幻を以前にもまして愛でるようになった。

オーケストラと過ごして半世紀のスラットキンとリヨンをベースとする演奏家たちは、2016年の初夏、想いも新たにラヴェル編のムソグルスキーを奏でる。管弦打楽器が織り成す烈しいドラマもさることながら「高雅で感傷的な」音楽への期待も限りない。響きの妖しいまでの醸成を体感したいものである。

フランスの俊英からフランス最高峰のヴァイオリニストへ。今年1月に40歳を祝ったルノー・カプソン(カピュソン)の出演に喝采を。カプソンが恩師ヴェーダ・レイノルズのもとで12歳のときに弾いたロマン派のコンチェルト、それが重音の効果もカンタービレも魅力となるブルッフの協奏曲第1番短調だった。本物の音楽家カプソン、スラットキン、リヨン管弦楽団の対話もライブの主役となる。

奥田 佳道(音楽評論家)

フランス国立リヨン管弦楽団 ORCHESTRE NATIONAL DE LYON



©Niko Rodamel

1905年創設のリヨネ・コンサート協会に端を発し、69年にオーケストラとなり、83年に今の名称となって現在に至る。87年から音楽監督を務めたクリヴィヌの力で楽団は飛躍的な発展を遂げ、その

後の準メルクルやロバートソンによって持ち前の透明な色彩的サウンドを生かし、あらゆるレパートリーに対応する能力を備えていった。2011年に名匠スラットキンが音楽監督に就任、稀代のオーケストラ・ビルダーによってこの楽団は更なる成長を遂げ、ナクソス・レーベルにラヴェルやベルリオーズ作品集を録音した。

レナード・スラットキン(指揮) LEONARD SLATKIN, Music Director



©Niko Rodamel

1944年生まれ、ロサンゼルス出身の巨匠。80年代に、彼の手腕でそれまで無名だったセントルイス響が一躍アメリカ・ビッグ5にランク入りしたことはあまりにも有名。2011年にリヨン

管音楽監督に就任。これまでシカゴ響、クリーヴランド管、ボストン響、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、ゲヴァントハウス管、ロンドン・フィルなど数えきれないほどの名楽団に客演し、BBC響の首席指揮者も務めた。録音も100以上あり、グラミー賞を7回受賞。フランスのレジョン・ドヌール勲章も受章。

ルノー・カプソン(ヴァイオリン) RENAUD CAPUÇON, Violin



©VirginClassics

1976年生まれ。トマス・ブランディス、アイザック・スターンに師事。アバドの招きでグスタフ・マラー・ユーゲント・オーケストラのコンサート・マスターを務め、ブレーズ、小澤

征爾、バレンボイムらの指導を受ける。2002年ベルリン・フィルにデビュー以来、ソリストとして世界中のオーケストラや指揮者と共演。室内楽ではアルグリッチ、バレンボイムらと共演。使用楽器はアイザック・スターンが所有していた1737年製ガエルネリ・デル・ジェス“Vicente de Panette”。

ルノー・カピュソン CD絶賛発売中!



40歳にしてすでに巨匠の域。超名曲録音の登場。
パリに新設された話題のホール、フィルハーモニー・ド・パリでの初録音作品

ツイゴイネルワイゼン、 **演奏予定曲!**
ラロ:スペイン交響曲&ブルッフ:協奏曲

WPCS-13327 ¥2,600(本体)+税

収録曲

ラロ:スペイン交響曲 二短調 作品21
サラサーテ:ツイゴイネルワイゼン 作品20
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲 第1番短調 作品26

ルノー・カピュソン(ヴァイオリン)
バーヴォ・ヤルヴィ指揮/パリ管弦楽団
録音:ブルッフ 2015年5月26-27日
ラロ、サラサーテ 2015年9月1-2日
フィルハーモニー・ド・パリ

カピュソン×ブラレイの渾身のベートーヴェン:
ヴァイオリン・ソナタ全集を世界初発売。

ルノー・カピュソン(ヴァイオリン)
フランク・ブラレイ(ピアノ)

ベートーヴェン: [第53回レコード・アカデミー賞]受賞!
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ集



Vol.1:1番、2番、3番、4番 WPCS-13046
Vol.2:5番「春」、8番、9番「クロイツェル」 WPCS-13047
Vol.3:6番、7番、10番 WPCS-13048
世界初発売 各¥2,000(本体)+税

ワーナーミュージック・ジャパン オフィシャル・ホームページ / クラシック wmg.jp/cja/



チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからもお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 287-088)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

twitter @kajimoto_News



“kajimotomusic” で検索!

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 1/30(土)10:00~

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
●団体料金設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階

TEL: 03-3574-0550

www.kajimotomusic.com